

こんにちは！

由利本荘市議会です



実戦しながら防災の日(鳥海トレーニングセンター)/8月30日

9月定例会

令和6年度決算を認定
9月定例会 審議結果
9月定例会トピックス
政策提案のための委員会所管事務調査
ここが聞きたい 一般質問
議員連盟研修会
市民と語る会
お知らせします 議会の動き
愛LOVEゆりほんじょう

▶P2
▶P3
▶P4
▶P6
▶P9
▶P13
▶P14
▶P15
▶P16



鳥海小学校児童による消火訓練

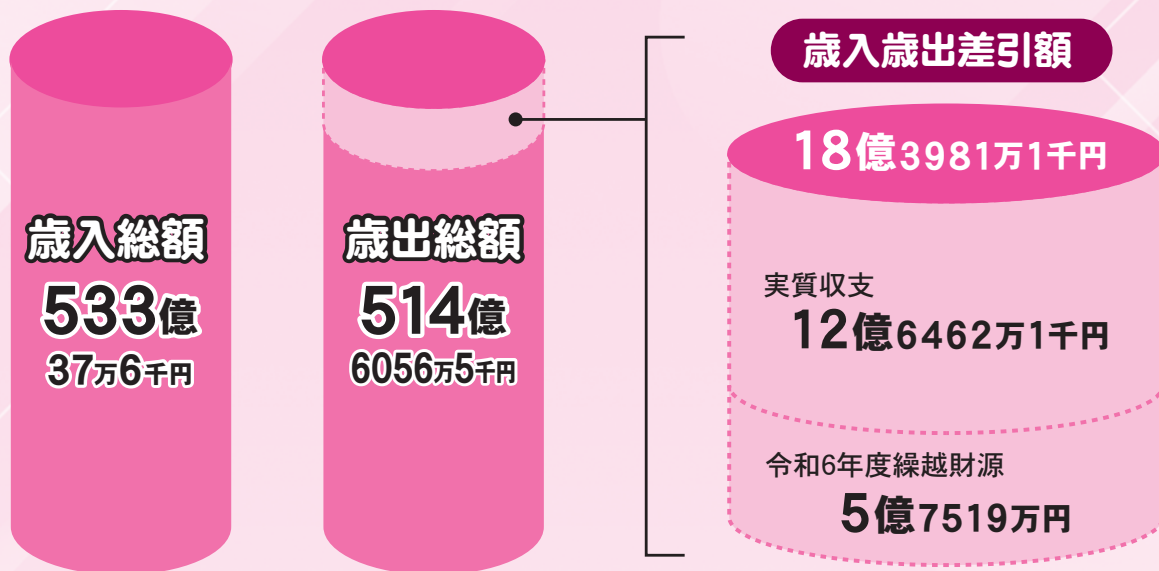


由利本荘市議会だより

令和7年/2025年10月31日 第82号

令和6年度決算を認定

令和6年度 一般会計決算



実質収支は **12億6462万1千円** の黒字

10特別会計の状況

予算現額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
96億513万2千円	96億6365万7千円	94億9802万4千円	1億6563万3千円

10 特別会計…国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、診療所運営特別会計、情報センター特別会計、奨学資金特別会計、介護サービス事業特別会計、スキー場運営特別会計、小友財産区特別会計、北内越財産区特別会計、松ヶ崎財産区特別会計

企業会計の状況

区 分	総 収 益	支 出
水 道 事 業	24億1007万1千円	23億3076万2千円
下水道事業	30億4486万円	30億8479万円
ガ ス 事 業	13億1542万6千円	12億2115万4千円

市債残高の状況

年度比較	令和6年度	令和5年度
市 債 残 高 計	614億5009万円	638億5388万5千円
市民1人あたり	880,373円	895,754円
当該年度末人口	69,800人	71,285人



9月定例会

人 事 案 件

異議
なし

■人権擁護委員（任期：3年）

菅 原 耕 悦 氏（再任）本荘地域川口

条 例 関 係

可決

- 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 由利学生寮教育振興基金条例の制定について
- 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
- 子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例案
- どまらんど大内条例の一部を改正する条例案
- テニスコート条例の一部を改正する条例案
- 由利本荘市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案

契 約 関 係

可決

- ◆6 災 2 8 6 号 1 級市道袖山線道路災害
復旧工事請負変更契約の締結について
契約金額：1 億 8 5 9 6 万 8 2 0 0 円
契約の相手方：山科建設・三浦土木特定建設工事
共同企業体
- ◆市立本荘東小学校グラウンド整備工事請負変更契約の締結について
契約金額：2 億 6 8 1 0 万 6 3 0 0 円
契約の相手方：香楽園・菊地・エコシビル特定建設
工事共同企業体

そ の 他（主なもの）

可決

- 字の区域及び名称の変更について
- 排水路氾濫事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて

陳 情 結 果

継続審査

- 陳情第1号（継続審査中）
選択的夫婦別姓制度の導入を国に求める意見書提出についての陳情
秋田弁護士会 会長 石田英憲
- 陳情第5号
再審法改正を国に求める意見書提出についての陳情
再審法の改正をめざす秋田の会
筆頭代表 有働悠一

議 員 発 案

可決

- 議員発案5号
米の安定供給と食料安全保障の確立を求める意見書の提出について

意見書
提出

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 農林水産大臣
経済産業大臣

全ての議案審議結果は
ホームページをご覧ください▶▶



議案表決結果一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

会派・議員名 案件名	高 志 会														サキホコレ		市民の窓口		共産党	公明党	立民党	無所属	表決数		議決結果
	高橋 信雄	高橋 和子	佐藤 義之	甫飯 貴子	堀井新太郎	三浦 秀雄	佐藤 健司	小松 浩一	泉谷 赴馬	吉田 朋子	伊藤 順男	渡部 聖一	長沼 久利	三浦 晃	正木 修一	大友 孝徳	松本 学	佐々木隆一	佐藤 正人	栗野 希穂	阿部 十全	橋島 達也	賛 成	反 対	
陳情第1号（継続審査中）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	欠	×	○	×	16	4	継続審査
陳情第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	×	×	×	14	6	継続審査

※陳情第1号：継続審査中の「選択的夫婦別姓制度の導入を国に求める意見書提出についての陳情」について、なお継続審査とするかの採決

※陳情第5号：「再審法改正を国に求める意見書提出についての陳情」について、継続審査とするかの採決

※長沼久利議長は、採決に加わりません。 ※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。 ※共産党：日本共産党 立民党：立憲民主党





9月定例会のトピックス



9月定例会が、9月2日から9月24日までの23日間の日程で開催されました。

市議会提出議案は、専決処分報告4件、令和6年度決算認定14件、人事案件1件、条例案7件、契約案件2件、令和7年度補正予算10件、その他5件の計43件が提出され、すべてが原案のとおり承認・認定・可決されました。

また、継続審査中のものを含む陳情2件は、ともに継続審査となりました。

さらに、議案発案1件を可決、意見書の提出となりました。

文中の記号は次のとおり所管委員会を表しているものです。

(総) … 総務常任委員会 (教) … 教育民生常任委員会 (産) … 産業建設常任委員会

「マイナ救急」全国一斉実証事業

救急搬送時にマイナンバーカードを活用した実証を行います。(総)

問 具体的な時期・内容は。

答 令和7年10月1日から翌3月31日までを予定とし、全地域を対象に実施する。救急隊員が、搬送時に傷病者のマイナ保険証を活用し、傷病者の医療情報を閲覧する。これにより、ご本人や付き添われる方の負担を軽減するとともに、傷病者の方がより適切な処置を受けることができる。

市道松街道線 交通安全施設(防護柵・防犯灯)設置工事

令和8年4月開校の本荘東小学校の通学路となっているほか、学童保育施設への経路にもなるため、安全と安心を確保する目的で設置します。(産)

問 事業概要は。

答 防護柵2箇所、街灯2基を設置する。工事費用は250万円。



現地で設置箇所を確認

鳥海山ろく線の災害復旧支援

災害総額914万9千円の一部260万円を補正し補助します。(総)

問 補助の内容は。

答 令和7年8月8日豪雨により、子吉駅から鮎川駅間において、線路上に法面から土砂流入と倒木があった。

国の災害復旧事業補助金の活用が前提となる第三セクター鉄道等協議会土木構造物保険を適用させる。負担割合は、国庫補助4分の1、県8分の1、市8分の1、鉄道事業者は2分の1である。うち、市補助分110万円に免責金150万円を加え260万円を補助する。



鳥海山 木のおもちゃ館から北側に数100m先の災害現場



由利学生寮教育振興基金条例の制定

公益財団法人由利学生寮閉寮・解散による寄付を奨学金償還の支援等に活用いたします。(教)

問 どのように奨学金償還の支援として活用するのか。

答 移住支援課が行っている「奨学金返還助成事業」と連携し、対象者の負担軽減を図る。具体的には、由利本荘市に就労または起業する者の初年度10月から翌年9月までの奨学金の返還に際し、毎年4万円の自己負担分を基金で充当し、対象者の負担を無くす。

障害者支援施設・介護保険施設物価高騰対策事業

障害者支援施設330万2千円、介護保険施設1241万7千円の一般会計補正により事業を展開します。(教)

問 どのような事業内容なのか。

答 物価高騰をうけ障害者支援施設および介護保険施設等に対して、食材料費の助成を行います。障害者支援施設に対しては、入所系の定員1人当たり3300円。通所系施設の定員1人当たり1650円。民間の介護保険施設に対しては入所系・複合系の宿泊サービスに対し、定員1人あたり5000円。通所系・複合系の通いサービスに対し定員1人あたり1650円の補助を行う。

AIオンデマンド交通実証運行事業

「ゆりほんのれッタ」の愛称で、今年度は令和7年12月1日から令和8年1月31日の2か月間、10人乗りワゴン車輛1台と14人乗りワゴン車輛1台の計2台で実証運行の予定です。(総)

問 主な事業概要は。

答 本荘地域の一部で実施する。1名1乗車につき、大人(中学生以上)300円・小人(小学生以下)150円(未就学児無料)で、キャッシュレス決済にも対応する。また、スマートフォンアプリから予約すると運賃が値引される。

運行時間は午前9時から午後6時30分で、アプリでの受付の他、専用ダイヤルからの電話受付も計画している。

本荘道路拡幅に係る本荘公園用地の売却

国道107号本荘道路は、由利本荘市街から本荘ICへのアクセス道路であるほか、国道105号、国道108号と接続し、交通の要衝となっています。また、沿道には本荘公園や小学校、商業施設などが立ち並ぶほか、第一次緊急輸送道路に指定されるなど重要な路線であることから、平成11年度より県が整備を進めています。この用地として本荘公園の一部を売却しました。(産)

問 進捗状況は。

答 第1期区間(御門交差点から一番堰交差点)および第2期区間(一番堰交差点から須田酒屋前)は供用中、第3期区間(瓦谷地交差点から御門交差点)を令和12年度までに供用開始予定。



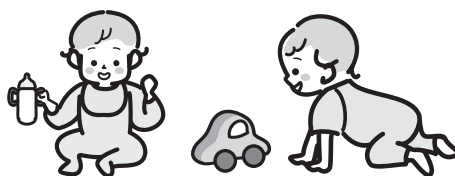
売却する本荘公園用地

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

国の乳児等通園支援事業創設に伴い、設備や運営に関する基準を制定します。(教)

問 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)とは。

答 利用対象は、0歳6ヶ月から満3歳未満で保育所等に通っていないこども。就労要件を問わず、月10時間の枠内で柔軟に利用することができる。2026年度から子ども・子育て支援法に基づき全国の自治体で実施される。



政策提案のための委員会所管事務調査

市議会では、政策の提案や提言を目指して事務事業の調査を行っています。

この調査は、常任委員会（総務・教育民生・産業建設）ごとに所管する事務事業からテーマを定め、2年間（令和5年11月から令和7年9月）の期間で実施しています。

この度、最終報告を取りまとめましたのでお知らせします。

総務 常任委員会 地域公共交通について

…先進地視察先…

7月1日～3日

●兵庫県宍粟市

●岡山県玉野市

●鳥取県伯耆町

1. はじめに

人口減少や少子高齢化が大きな課題とされる今、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築することは極めて重要な課題である。市民の皆様の「生活の足」を守り本市の実態に即した公共交通のありかたを検討するため、先進地域の公共交通を学び、課題解決を図ることを目的とし調査探求する。



内陸部に森林の多い宍粟市

2. 先進地の視察から

① 兵庫県宍粟市

人口密度と森林面積率が本市に近似した宍粟市では「既存の概念に捉われない全く新しい公共交通システムの構築」を方針に公共交通の再編に取り組み、幹線と支線



瀬戸内海に面した玉野市

② 岡山県玉野市

市の中心部が岩山帯で住居地が少なく、それを囲む10地区を効率的に結ぶ公共交通網の構築が長年の課題であった玉野市は、市長の「免許を持たなくても日常生活に困らないまちに」との思いから大規模アンケートの結果に基づいた地域公共交通計画が策定され、乗合タクシーやバスロケーションシステムの導入等がなされていた。

を結節点で結び、自治会集会施設から300m以内に路線を設定し一筆書きの路線としたことで、再編後11か月で利用者数が4割増えた。運賃は市内全域の乗継ぎを含め200円（小人100円）に定額化した。

③ 鳥取県伯耆町

鳥取県西部の米子市に隣接する伯耆町では、路線バス事業者からの「町内枝線の廃止通告」を受け、小中学生の通学手段であるスクールバスと、町民の足としてのデマンドバスなどを共存させる「伯耆町型バス事業」が運営されている。



米子市のベッドタウン化が進む伯耆町

3. 最終報告

昨年度からスタートした本市公共交通計画も他自治体と遜色ない体系となつているが、利便性を追求し便利な交通体系を構築するだけでなく、市民に対して「乗って利用しなければ鉄道やバスが無くなり、地域の衰退が加速する」との意識付けが重要である。

教育民生 常任委員会

子育てにやさしい 環境づくりについて

…先進地視察先…

6月30日～7月2日

●鳥取県倉吉市

●島根県出雲市

1. はじめ

全国的に少子化の進行が加速している。本市の子育て支援の取り組みの現状と子育て世代がその取り組みをどうとらえているかを把握するためアンケートを実施した。先進地の取り組みを調査研究することで本市の子育て環境の整備や支援の在り方の提言に結び付けたい。

2. 最終報告

(1)本市の子育て世帯へのアンケート調査から

本市認定こども園、保育園を抽出し年長児クラスの保護者180世帯(回収数138世帯、回収率76.6%)
◎約半数が「概ね充実している」とする一方、残る半数近い保護者が「本市の子育て支援策を理解していない、満足していない」と回答



子ども食堂支援が充実している倉吉市

◎もつと取り組んで欲しい子育て支援、上位2位は「遊び場の充実」「経済的支援」

◎約7割の保護者に「子育てにおける悩み」がある

(2)先進地域の視察から

①鳥取県倉吉市

○子育て世代買い物応援事業
多彩な事業者が協賛し買い物時の割引等を行っている

○子ども食堂の立ち上げ支援

立ち上げや運営に関する補助を行い、生活困窮世帯を含むすべての世帯を対象とした子どもの居場所づくりを支援。その結果、子ども食堂実施団体は4団体から9団体に増加。子どもの居場所づくりの確保に結び付いている。

②島根県出雲市

○子育て短期支援事業

宿泊を含む夜間、休日の児童の預かりを行い一時的に子どもの養育が難しい家庭への支援を行う。里親委託が可能になり里親制度の周知、利用者の安心感の高まりにより効果的に運用されている

○出雲市多胎支援事業

妊婦健診の追加助成、家事育児訪問サポートの費用や利用上限時間の優遇。また、多胎ピアサポーターを委嘱し多胎妊婦や多胎家庭の支援を行っている



多胎育児支援が充実している出雲市

3. まとめ

2年間にわたる調査活動を通じ、本市においても他自治体同様多様な子育て支援策が展開されていることを再認識した。それらをさらに充実したものとするため、以下の必要性を課題とし本調査のまとめとする。

(1)支援策と子育て世代をつなぐパイプ役となり得る人材の育成と確保

(2)関係機関および民間との連携の充実

(3)子どもの遊び場の周知と既存施設の活用

こうした調査結果を踏まえて、今後とも保護者の声に耳を傾けた子育て支援の充実を図り、ハード、ソフト両面においても、子育てにやさしい環境づくりに取り組むことが望まれる。



各常任委員会の
最終報告は
市のホームページで
ご覧になれます。



産業建設 常任委員会

再生可能エネルギー（特に洋上風力発電事業）促進における地域活性化について

…先進地視察先…

7月8日～10日

- 北海道苫小牧市
- 北海道石狩市
- 北海道江別市

1. はじめに

本市沖で計画されている洋上風力発電事業をはじめとする再生可能エネルギー関連事業は、固定資産税の増収や出捐金収入などの財政面、雇用や観光などの産業面における大きな効果が期待できる。その中で、本市への経済効果など市民に、どのような恩恵をもたらすことができるかを具体的に示すことが課題であり、当委員会としても関連事業のメリットやデメリットを明確に捉え、当局に提言することが喫緊の課題である。

2. 先進地での視察から

① 北海道苫小牧市

CCSとは、工場や発電所から排出されるCO₂を分離・回収し、地中貯留に適した地層まで運び、安定的に貯留する技術であり、地

質特性を活かし、国内初の本格的な陸域型CCSとして、苫小牧が選定された。市民の不安や疑問に丁寧に対応し、苫小牧市としても積極的に広報・情報発信を行い、地域との信頼関係構築に努めている。



製油所で排出されたCO₂を分離・回収する設備

② 北海道石狩市

再生エネルギーとして風力発電、太陽光発電のほかバイオマス発電所もあり、地産地消型の再生可能エネルギーを供給している。教育機関へ学びのフィールドの提供や、洋上風力やGX（※1）関連投資によるビジネスチャンスをつかむための市内企業による組織体をつくり地域企業の振興を目指す。更に一次産業の持続可能性向上や市民の利便性向上、公共交通課題の解決、水素利活用による産業全体

の脱炭素化を目指すとし、行政・市民・企業の三方よしのまちづくりを実践する。



2024年より商業運転されている石狩湾新港洋上風力発電

③ 北海道江別市

江別浄化センターでは、消化ガスコージェネレーション設備を導入し、発電と排熱を利用した暖房



消化ガスコージェネにより電気料金が節減されている江別浄化センター

や給湯を行い、最終沈殿池から出た処理水を利用した流雪溝を設置し、冬期間の排雪に活用し、汚泥処理施設から排出された脱水ケーキは肥料として農地にほぼ100%有効利用されている。

3. まとめ

本調査を通じて、再生可能エネルギーの促進により、様々な形で地域の活性化につながる可能性を認識した。

本市においては、再生可能エネルギーを地域で活用し、産業の振興や市民生活の向上、交流人口の増加につなげるとともに、市が主体となつて市民への周知に努め、再生施設への視察者の来訪に向けて飲食業等の地元事業者を巻き込み、効率的な観光の仕組構築を早くから計画すべきである。

しかしながら本市沖の洋上風力発電事業は、開発取りやめが事業体から発表され、今後は事業者が改めて公募される見通しである。

本市や市民に最大限のメリットをもたらすため、攻めの再生可能エネルギー事業に向けて国の動向にも注視しながら取り組んでいただきたい。

（※1）GX＝グリーン・トランスフォーメーション

一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。すべての質問項目は次のとおりです。(内容を掲載している項目番号には、○をつけています。)

9P 伊藤順男 (高志会)

- ① 本庁と総合支所における事務事業の見直しについて
2. 「稼ぐ力」による一般財源確保について
3. 過疎債の運用状況について
4. 本市の人口動態とその関連について
5. 岩城・大内道の駅の指定管理状況について
6. 「子供の生きる力」を育む教育について

10P 佐々木隆一 (日本共産党)

- ① 戦後80年平和を願う心を未来に伝えよう
2. マイナ「一本化」で煩雑になる健康保険証について認識と見解は
3. 元号(和暦)西暦併用すべき
4. 農業振興について
5. 原発優先で再エネ抑制について
- ⑥ 教育行政について

11P 甫仮貴子 (高志会)

- ① 本市における中小企業を始めとする各種産業の振興について
- ② 矢島小学校学童保育について
3. 本市の観光資源「桜」について
4. 大雨災害時における内水氾濫対策と市民の安全確保について
- ⑤ 本市ごみ焼却施設の広域化と環境負荷の低減について
6. ふるさと納税の増収に向けた新たな取り組みを

10P 大友孝徳 (市民の窓口)

- ① 鳥海山を核とした観光を推進するために
- ② 本市の風力発電施設
3. 定額減税補足給付金(不足額給付)の申請について
- ④ 不祥事及び不適切な事務処理の再発防止に向けて

11P 堀井新太郎 (高志会)

- ① 市政の更なる発展のために
2. 住み良い住環境の整備について
- ③ 教育環境の整備について
4. 全市いっせいで防災訓練と消防団との連携について

12P 栗野希穂 (立憲民主党)

1. 市役所における職場環境と働きやすさの確保について
- ② 不登校児童生徒への支援とスクールソーシャルワーカーの配置体制について
- ③ 由利本荘市教育支援センターの現状について
- ④ 本荘郷土資料館の入館料について



9月定例会では、6人の議員が質問に立ちました。YouTube配信をQRコードよりご覧になれます。



問 本市の職員数(企業会計部門除く)は848人、人口1万人当たりにすると118・23人。類似団体との全国平均は87・1人。比較すると31・13人多い状況。この一因として広大な面積を有して

答 本市の職員数は(類似団体比較)

問 本庁と総合支所における事務事業の見直しについて。今後の人口減少や財政規模の縮小を踏まえると、職員数の削減を含む市役所全体のスリム化が急務となっている。そこで、市民生活に大きな影響のない事務と、それに要する人員を本庁に集約し、事務の効率化を図る。現場や緊急対応など対面による対応に特化することで、市民に不便を感じさせない行政サービスの提供を目指す。

答 今後の人口減少や財政規模の縮小を踏まえると、職員数の削減を含む市役所全体のスリム化が急務となっている。そこで、市民生活に大きな影響のない事務と、それに要する人員を本庁に集約し、事務の効率化を図る。現場や緊急対応など対面による対応に特化することで、市民に不便を感じさせない行政サービスの提供を目指す。

市役所のスリム化は



伊藤順男
(高志会)



問 今後のスケジュールは。市民に対し各種会合やオンライントークなどさまざまな機会をとらえ説明する。また、寄せられた意見等を踏まえ成案を策定し12月議会に示す。

答 今後のスケジュールは。市民に対し各種会合やオンライントークなどさまざまな機会をとらえ説明する。また、寄せられた意見等を踏まえ成案を策定し12月議会に示す。

問 総合支所の窓口の利用者数は。繁忙期とされる令和7年3月から4月の来庁者数は一日平均14人。令和6年度の諸証明の発行件数は、一日平均10・86件となっている。専門性が高く本庁に集約された業務の相談については、リモート接続により、総合支所職員が寄り添いながら相談できる体制を整える。

答 総合支所の窓口の利用者数は。繁忙期とされる令和7年3月から4月の来庁者数は一日平均14人。令和6年度の諸証明の発行件数は、一日平均10・86件となっている。専門性が高く本庁に集約された業務の相談については、リモート接続により、総合支所職員が寄り添いながら相談できる体制を整える。

いることが挙げられる。



大友孝徳
(市民の窓口)



本市の風力発電施設

問 本市のガイドラインに示される風力発電施設との離隔距離300メートル(規定前)が確保されていない住宅等は何軒あるのか。

答 西目地区の中高屋に22軒、海士剝に1軒、松ヶ崎地区に1軒ある。

不祥事及び不適切な事務処理の再発防止に向けて

問 曖昧なルールと運用では組織改革は完遂できない。当局が定めた「不祥事等再発防止に向けた具体的な対策」をどのようなサイクルで誰がその進捗を確認しているのか。

答 これまでは実情を踏まえつつ、それぞれの所属長の判断で行われているが、今後はさらに取り組み状況についても確認する。また各課を越えた第三者の目でチェックしつつ、不祥事の防止に努める。

鳥海山を核とした観光を推進するために

問 グーグルマップに豪雨被害で通行止めとなった地点を反映させるべきでは。

答 グーグルマップは誰でも投稿や削除ができるため正確性に欠ける場合もあり、市の公式な情報発信として取り扱えない。

問 案内看板標記は「鳥海高原」を冠にした後に各施設を表し観光客に分かりやすくしては。

答 鳥海高原標記を統一的に進めるために南由利原から鳥海山麓の広いエリアを売り出すことは今後の研究課題として受け止める。



現在の案内看板標記

改善が望まれる案内看板

戦後80年平和を願う心を未来に伝えよう



佐々木隆一
(日本共産党)



問 戦前の軍国主義による侵略戦争で日本国民310万人、東南アジア太平洋で2千万人の命が奪われた。

答 あの戦争で亡くなった方は本市で何人か。渡満された方は何人か。非核平和都市宣言をしている本市の市長として戦争と平和に対する見解を求める。

答 満州事変以降の戦没者は1市7町で2910人、渡満された方は当時の由利郡内で291人、現地出生が57人、うち192人が帰還している。80年の節目に市民の恒久的な全安心と「核戦争、核兵器のない世界」の実現を希求し、1日も早く平和が訪れることを願っている。

子ども版「防衛白書」についての見解は

問 防衛省は子ども版「防衛白書」を毎年作成しているが今年初めて全国的に配付しているようだ。

答 軍事力を正当化し、意見が分かれる安全保障政策について政府見解を一方的に教えこむ内容に教育現場では戸惑いの声が上がっている。

問 また、自衛隊の戦車や戦闘機の紹介が自衛官募集のホームページもある。本市には配付されたのか。

答 防衛省より市内全小学校へ配付されたことは県教育委員会より連絡を受けている。「防衛白書」は各小学校で職員室に保管、または図書館に配架しており教育資料のひとつとして捉えている。





堀井新太郎
(高志会)



市政の更なる発展のために

問 市職員による不祥事が続く中、職員昇任試験の導入の考えは。

答 現在、職員の昇任・昇格については、経験年数をはじめ、事務能力や勤務態度、勤務成績などを勘案の上で行っている。班長級以上の登用には、特に上司による人事評価結果などを踏まえた組織のマネジメント能力などを合わせて、総合的に評価して判断をしている。

他市で行う「試験」と本市で行う「選考」に形式的な違いはあるが実質的な違いはない。現在の制度の運用とともに、他市町村の状況を見定めていく。

教育環境の整備について

問 市内資料館の老朽化と収蔵物の展示保管場所が行き詰まる。デジタル資料館の考えは。

答 本荘郷土資料館を含む市内4施設では、さまざまな企画展を開催しているが、展示スペースに制約があることから、実物での展示や公開できる資料数が限られている。収蔵資料のデジタル化を行うことで、いつでも誰もがインターネットで資料の閲覧や活用が可能となる。デジタルアーカイブは、これまで埋もれてしまっていた資料の価値をより高めるきっかけになる。今後、市の事業全体の中で総合的に判断しながら、デジタル化を活用した教育環境の更なる整備に努める。



本荘郷土資料館



南坂貴子
(高志会)



本市における 中小企業を始めとする 各種産業の振興

問 地域共通「デジタルスタンプリ」で地域の活性化を。

答 経済効果や地域活性化、コミュニティ強化など、行政サービスの推進にもつながる有効な施策であるが、導入には難しい課題があるのも事実。商工会を始めとする関係団体と情報共有をしつつ制度化に向けた動きが出てきた場合には助言や支援策の展開も視野に入れ臨んでいく。

矢島小学校学童保育 について

問 学童の場所を当初予定の学校内から変更する際の説明会の在り方は。

答 保護者や関係者の懸念を払拭できるよう、引き続き十

分な説明と対話の機会を設け、寄り添った対応をする。今後とも運営事業者、小学校と連携を密にし、ご心配やご意見に真摯に対応し、より良い保育環境の整備に取り組んでいく。

本市ごみ焼却施設の 広域化と環境負荷の低減は

問 自前の焼却施設がなくなるこの問題は。

答 道路の寸断や広域焼却施設への搬出が困難となった場合でも、コンテナによる一時保管や臭気対策設備等の設置で対応できると考えている。国ではごみ処理の広域化・集約化を推進しており、本市としても人口減少を見据え、引き続き安定的かつ持続可能な廃棄物処理体制の構築に取り組んでいく。



新ごみ処理施設予定地は今後中継施設などにする計画



栗野希穂
(立憲民主党)



**不登校児童生徒への支援と
スクールソーシャルワーカーの
配置体制は**

問 本市で活動するスクールソ
ーシャルワーカーの専門性
や活動機会の確保、そして広大な
市域に対応するための県との連携
や増員要望など、どのように取り
組んでいるか。

答 県教育委員会では、本市・
にかほ市を対象に、学校現
場経験のある元校長や社会福祉士
資格を持つスクールソーシャルワ
ーカー2人を中央教育事務所由利
出張所に配置している。相談者の
増加など必要に応じて県教育委員
会と増員を協議する。

市教育委員会とは、年4回の情
報交換会を通じて活動や相談内容
を共有しており、相談希望者に十
分対応できる体制を整えている。

**由利本荘市教育支援
センターの現状は**

問 地域分校や出張型支援、タ
ブレットやオンライン授業
の活用、人員体制などを含め、学
校に通えない児童生徒が地域で学
べる仕組みは。

答 教育支援センター内本荘ふれ
あい教室では、タブレット端
末による学習や学校の様子のオン
ライン配信も行っており、学校か
ら家庭への授業配信も実施してい
る。今後は、公民館など地域拠点
に向向いて学習支援や相談を行う。

**本荘郷土資料館の
入館料は**

問 公共施設の運営費が増える
中、料金改定や市民・市外
来館者の区分設定について市はど
う考えているか。

答 企画展入館料は教育目的を
重視し一律100円で、市
内外を問わず多くの方に本市の歴
史と文
化に触
れてい
ただけ
るよう
努めて
いる。



由利本荘市郷土資料館

第34回全国市町村交流レガッタ豊岡大会 市議会「子吉川クルー」5大会ぶり5回目の優勝

第34回全国市町村交流レガッタ豊岡大会が9月27日・28日の両日、兵庫県豊岡市円山川公苑特設会場（400mコース）で開催されました。議会議員の部には27クルーが出場。大会初日は予選5組のレースが行われ、鳥海山クルーは惜しくも予選通過できず、翌日の交流戦に回り第3位と奮闘。子吉川クルーは予選第3組に出場。2位に2秒差余り、議会議員レースの全5組中3位の好タイムで予選を通過し翌日の決勝に臨みました。決勝には、昨年予選で不覚を取った愛知県東郷町議会など6チームが出場。当日の天候は晴れ、向かい風、川の流れが速く川上に向かって漕ぐさまは、5月の連休明けから9月の大会に向けて練習を重ねて来た「子吉川ボート場」によく似ており、レース後半の漕ぎが勝敗のキーポイントとし試合に臨みました。課題のスタートを無難にこなし、中盤250m付近で3番手に手につけ300m付近から加速し、タイム「1分52秒75」で2位のライバル東郷町議会に2秒余りの差をつけ、5大会ぶり（合併後）5度目の優勝。チーム由利本荘参加7クルーとともに「ボートのまち由利本荘」のPRと交流に努めてきました。



4回全国市町村交流レガッタ豊岡

■市議会クルー監督／伊藤順男

■子吉川メンバー／C 伊藤順男・S 佐藤義之・3 小松浩一・2 泉谷赴馬・B 松本学・補漕 栗野希穂

■鳥海山メンバー／C 吉田朋子・S 佐藤健司・3 長沼久利・2 大友孝徳・B 橋島達也・補漕 南飯貴子

■チーム由利本荘参加クルーの成績

・俺達。《優勝》（男子160歳未満の部）・本荘由利森林組合《優勝》（男子160歳以上の部）

・んだべおん！《決勝第4位》（女子160歳以上の部）・秋田プリマ食品レディース《交流戦第1位》（女子160歳未満の部）

・小林工業 MIX《交流戦第4位》（男女混合の部）

活動報告

令和7年7月23日

再生可能エネルギー調査研究推進議員連盟研修会

再生可能エネルギー調査研究推進議員連盟研修会として、「エネルギーのまち能代市」の取り組みについて視察を行いました。

能代市は、平成13年より運転開始された風力発電所を皮切りに、太陽光発電やバイオマス発電など、さまざまな再生可能エネルギーの導入が進み、令和4年12月には全国初となる洋上風力発電所の商業運転が開始されています。

地域への波及効果も大きく、運転管理事務所、県内企業との合併会社で運行するアクセス船（CTV）、メンテナンス作業チームなど産業振興や雇用が創出され、風車の部材を置くふ頭の地盤強化など港湾振興にも寄与されていました。

また、事業者と連携した取り組みも多く、高校生を対象とした人材育成に繋げるエネルギースクール、エネルギーに見て触れて体験するツアーなど風車への理解・啓発、事業者の協力のもと乗合交通の実証運行などを実施していました。

能代市の先進的な取り組みを視察し、経済波及効果と雇用の創出、事業者と連携した多岐にわたる取り組みなどの実績を伺い、有益な事業になると認識できた研修となりました。

本市沖の洋上風力発電事業は、事業者が資材価格高騰などの影響により、採算が取れないと判断し、事業からの撤退を発表しました。政府は、速やかな再公募の方針を打ち出しており、今後の展開に期待したいと思います。



活動報告

令和7年8月8日

森林・林業・林産業活性化推進議員連盟研修会

森林・林業・林産業活性化推進議員連盟の研修会では、「本市の森林環境譲与税の活用と林業の現状・課題・将来展望について」農山漁村振興課職員からお話を伺いました。

本市の面積のおよそ4分の3を占める森林の状況や問題点を把握するためには、①森林経営計画（一体的な森林を対象に植栽から伐採までの保護等について5年1期とする計画）②森林経営管理制度（管理されていない森林について市町村が仲介役として森林の担い手を繋ぐ仕組み）③森林環境譲与税（森林整備に必要な地方財源を安定的に確保するための財源）の三つの重要課題があり、10年20年と継続して実施していく必要がある事業であること。現状のままでは将来林産業が成り立たないことも数値では表れていることなど知るべき情報を伺いました。

職員からは、「本市では年間およそ2億円の環境譲与税が見込まれている。使途目的に添った必要な事業を行い、森林経営管理制度の周知を図り、森林管理人材育成などで、より多くの森林が次世代に継承できるようになる」など、詳細な数値を示して説明いただきました。

林活議連と当局との連携を深め、林産業の活性化を図り、森林の健全な維持に努めるための参考となりました。





令和7年度 由利本荘市議会市民と語る会



「高校生と語る会」開催

本市議会では、令和4年度から「市民と語る会」を、高校生とまちづくりについて話し合う「高校生と語る会」として取り組んできました。昨年度は語る会において話し合われた内容から「人口減少・少子高齢化対策」「矢島高校における学校給食の導入」について、市当局に提言を行いました。

今年度は、市内5校の高校生28人と市議会議員18人（議長等を除く）が9つのグループに分かれて「今後の由利本荘市に取り組んでほしいこと」について話し合いました。およそ1時間にわたる意見交換を経て、各グループごとにテーマが掲げられグループ協議を終えました。各グループから出されたテーマの一部をご紹介します。

- 取り組んでほしいこと・理想の由利本荘市
- 高校生が描く住みやすいまちについて
- Hope Town YURIHONJO
- 希望をもてる由利本荘市
- これからのまちづくり・由利本荘市に取り組んでほしいこと
- 「STOP!人口減少」プラン
- 出て行ったとしても帰って来たいまちに
- みんな笑顔で満足な由利本荘市
～全世代が住みよいまちに～



高校生らしい「若者が集まれる場所や遊べる場所」「まちの活性化」を望む意見から、「出産・子育て支援」「自殺率の減少」「農業の後継者問題」など本市にとどまらず現代日本の課題を捉えた意見などもあり、多様な視点からの意見交換がなされました。そのような協議の中から提案されたテーマには、由利本荘市への各グループの思いがこもっていると感じました。

開催後のアンケートでは、「他校の生徒と交流ができて良かった。」「さまざまな意見や考え方があっておもしろかった。」「自分の住むまちについて考えることができ、貴重な体験ができた。」などの感想が寄せられ、28人中27人が語る会に参加して「良かった」、1人が「まあまあ良かった」との回答結果となりました。他校の生徒と交流できたことや多様な考えにふれ意見交換ができたこと、また普段語ることのない由利本荘市のまちづくりについて語り合えたことへの充実感が感じられるアンケート結果でした。

議会では、今回の語る会の内容を報告書としてまとめ、市当局に提出いたします。今後も、若い世代のまちづくりへの思いが市政に反映されるように取り組んでまいります。



議長交際費

	7月	8月	9月
慶祝、協賛など	59,220円 (9件)	28,660円 (3件)	31,450円 (6件)
弔 事	0円 (0件)	0円 (0件)	0円 (0件)



【議長交際費】
詳細はこちらから↑

議会を見よう！知ろう！

▶ 次の定例会は11/28~12/18 ◀

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- ★議会を傍聴！ライブで！
- ★会議録で読む
- ★ケーブルテレビで生中継
- ★由利本荘市議会YouTubeチャンネルでライブ配信



由利本荘市議会YouTube
チャンネルはこちら→



市議会カレンダー

● 12月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
11/16	17	18	19	20	21	22
		11月19日(水) 正午までに受理する 請願・陳情を審議 する予定です		27	28 本会議 (開会)	29
	12/1	2	3	4	5 本会議 (一般質問)	6
7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 常任 委員会	11 常任 委員会	12 常任 委員会	13
14	15	16	17	18 本会議 (閉会)	19	20
21	22	23	24	25	26	27

議会の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。(TEL24-6386)

議会日誌

(7/1~9/30)

7月	4日	議会報編集特別委員会
	11日	議会報編集特別委員会
	17日	鹿角市議会行政視察来訪
	23日	再生可能エネルギー調査研究推進議員連盟研修会
	25日	議会全員協議会
	29日	栃木県那須塩原市議会行政視察来訪
8月	5日	東京都足立区議会行政視察来訪
	6日	産業建設常任委員会協議会 総務常任委員会協議会 市民と語る会「高校生と語る会」
	8日	森林・林業・林産業活性化推進議員連盟研修会
	22日	教育民生常任委員会協議会 議会全員協議会 総務常任委員会協議会 教育民生常任委員会協議会 産業建設常任委員会協議会
	25日	議会運営委員会
9月	2日	本会議(開会) 会派代表者会議
	8日	本会議(一般質問)~9日
	9日	議会運営委員会 決算審査特別委員会 会派代表者会議
	10日	委員会(議案審査) 決算審査特別委員会~12日
	18日	決算審査特別委員会(主査報告) 議会全員協議会 再生可能エネルギー調査研究推進議員連盟総会 森林・林業・林産業活性化推進議員連盟総会
	24日	議会運営委員会 本会議(閉会) 議会全員協議会 正副委員長会議 会派代表者会議
	30日	議会報編集特別委員会

議長公務(主なもの)

7月	3日	各期成同盟会等合同整備促進大会
	6日	消防訓練大会
	11日	由利畜産共進会
	12日	旧藩祭
	17日	秋田県市議会議長会第1回定例会(男鹿市)
	18日	青少年ハンガリー友好交流訪問団団結式
	19日	本荘マリナ海水浴場安全祈願祭 日本海洋上花火大会
	22日	全国市議会議長会建設運輸委員会(東京都)
	25日	交通安全市民大会
	31日	東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望(東京都)~8月1日
8月	3日	矢島カップMt. 鳥海バイシクルクラシック
	4日	市と市議会との合同要望(秋田市)
	8日	いわきおどり
	18日	日本海沿岸東北自動車道山形・秋田県境区間建設促進大会(山形県遊佐町)
	19日	峰越手代奥山林道整備促進連絡会議(山形県酒田市)
	24日	第100回秋田県畜産共進会及びあきた畜産まつり
	27日	全国市議会議長会研究フォーラムin札幌(北海道札幌市)~28日
	30日	市総合防災訓練
9月	1日	石川善兵衛翁の功績をたたえる植林記念祭
	12日	本荘地区福祉展表彰式
	13日	本荘追分全国大会
	20日	韓国梁山青年会議所訪問団来荘歓迎レセプション
	26日	子吉小学校閉校記念式典
	27日	全国ボート場所在市町村協議会議長懇話会
	29日	本荘由利発明工夫展・未来の科学ゆめ絵画展審査会
	30日	尾崎小学校閉校記念式典



【議長公務】
詳細はこちらから↑



本荘東中学校 2年
さ さ き いち か
佐々木 一花 さん
(町内名 蓼沼)



小友小学校 6年
たか はし あおい
高橋 葵 さん
(町内名 新道)

苗の植え替えから見る田んぼアート

私 は由利本荘市の田園風景が大好きです。特に本荘東中学校近くの田んぼアートがお気に入りです。今年の5月に私たち2年生全員で田植えが終わった苗の一部を古代米に植え替えて「Wish」の文字を創りました。

田んぼに実際に入ってみると、中はめめめめして足すべらせてしまわないようにするのは大変でした。クラスメイト達も大変そうだったけど、JAの方々からのアドバイスのおかげで最後までやりとげることができて楽しかったです。

作業が終わった後、私は達成感でいっぱい、この体験ができてよかったと思いました。

この田んぼアートは東中生全員で創ったものです。東中は開校21年目を迎えますが、この伝統はいつまでも続いてほしいです。

由利本荘市の鳥海山

私 は、由利本荘市の豊かな自然が好きです。その中でも一番好きなのは、鳥海山です。春は雪どけを見ることが出来ます。夏や秋は山登りを楽しむことができ、冬は雪景色がとてもきれいです。小友小学校のグラウンドからも、鳥海山を見ることができます。私は家族と何度か登山をしたことがあります。山頂からの景色はとてもきれいで、達成感でいっぱいになります。きっと、鳥海山から見られる景色も美しいと思います。家族と鳥海登山にも挑戦したいです。

自然は、いつも私を見守ってくれているように感じます。鳥海山を見るたびに、見守ってくれてありがとうという気持ちが生れます。10年後、20年後も、変わらずきれいな鳥海山が残ってくれるとうれしいです。

まちの声から



矢島地域

岸田 康明 さん
(町内名 館町)

変わりゆく街並み

周りを見渡すと、随分と空き地や空き家が目立つようになってきました。人口も最盛期の3割、商店においては2割まで減少しております。その結果、跡継ぎの子どもたちが行き場を無くし、町を離れ人口流出が加速してしまいました。

歴史をたどれば、明治4年7月から11月まで矢島県として存在しており、最初の衆議院選挙では当町から全県5名のうち1名が当選しております。また、昭和60年代までには、全ての行政がこの町で補うことができました。政治や文化の両面において活躍された先人たちを誇りに思います。

さて、今年も400年以上の伝統のある八朔祭が9月に開催されました。町にはまだまだ活気があり、次代を担う若者たちに安堵しました。

編集後記

4年間、大変お世話になりました。

私たち議員も早いもので、4年に1度の審判を受ける時期となりました。

この号が届く頃には新しい議員が決まり、体制づくりに忙しいことでしょう。

さて、議会報の委員も変わります。

委員長をはじめ、委員の皆さま、大変ご苦勞様でした。

それぞれの言葉を文章にしていく作業は、とても大変ですが勉強にもなります。市民の皆さまにどう伝わったのか、いつも気になります。

これからも議会の動きや市政のやりとりを伝えていくことでしよう。

まずは任期終了の折り、大変ご苦勞様でした。

(三浦晃)

議会報編集特別委員会

委員長 佐藤 正人
副委員長 南 貴子
委員 阿部 孝全
佐藤 義徳
泉谷 越馬
佐々木 隆一
三浦 晃

(議席順)